



広報

にのみや

第233号

発行日 5月10日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町企画課 二宮961番地 電話71-3311

町民憲章

1, 幸せを願い、健やかな明るい
二宮町をつくりましょう



自然を生かすきれいな町づくり

川は私たちの憩の場

美化、汚濁防止をみんなの力で

町では自然が生かされた郷土の環境を保全していくため、みなさんの協力を得て積極的に取り組んでいます。その一つに「美化運動」「神奈川クリーン二宮作戦」「地区下水清掃」などがあり、年々環境保全活動が盛んになってきています。
県でも五月九日・六月十一日を「かながわ環境月間」と定めており、これを機会に私たちに身近な「河川問題」をみなさんと考えていきたいと思います。

水は私たち人間だけでなく地球上の全ての生物にとって、生きていくうえで不可欠な物質の一つと言えます。そのためわかしから人は、河川、湖沼、海などの水辺に集まってそこから生活の源である水を得て生活し、河川沿いにはだいに家屋が建

ちならび一つの人間社会が形成されてきました。しかし年々人口が増え集落が過密化し、だんだんと産業活動が活発になってくると、人間生活と河川間のバランスが崩れてここに問題が生じてくるわけです。今日、本町も都市化の波を受けて

昭和四十一年の百合が丘団地の入居がはじまってから、人口も増加し、あわせて新興住宅地の富士見が丘地区の誕生により、「住宅都市」を形成しつつあります。こうした「住宅都市」として共通の問題点の一つに河川の水質汚濁やゴミ処理があります。

魚の住める川に



昨年の地区下水清掃

地域ぐるみで環境の保全を

町ではフルドーザーによる河床整理や除草などの河川清掃を行い河川美化に努めています。みなさん一人ひとりが「河川を美しく」という意識をもち、ゴミなどを投げ捨てないようにしましょう。

不法投棄の防止

町内には喜川をはじめ梅沢川、中村川、打越川、田代川の五河川が山地から住宅地をめぐって流れていきます。洗濯や魚釣りなどでまた地域住民の憩の場、安らぎの場であったこれらの河川は、わかしの影響を受けることがあります。空き缶をはじめとするゴミで、さらに一般家庭からの雑排水などで川が死んでしまっています。

特に有リン合成洗剤が河川の富栄養化をもたらす水質を悪化させていますので、みなさんのご家庭でも粉石けんやリンを含まない合成洗剤に切り替えをうけましょう。

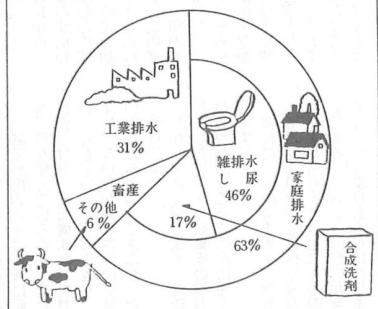
自然を大切に

太陽の光を受けた清らかなせらぎを魚が泳ぐ姿それは私たちに潤いを与え、気持ちと和らげます。この自然を後世に残していきたいものです。

今年も五月九日・六月六日にわたり、町内三地区で下水清掃が行われます。この清掃は、梅雨期から夏にかけてハエや蚊などの発生源となったり、土砂やゴミがたまり排水が悪くなる下水溝やマンホールを清掃し、悪臭のない清潔な生活環境をつくるため各地区のみなさんが自主的に行っているものです。また六月二十日には「かながわグリーンアンドグリーン作戦」のもとに「神奈川クリーン二宮作戦」が行われます。町民のみなさんが一体となって、袖が浦海岸を清掃するものです。今後本町をとりまぐ環境を把握し、町行政と町民が「丸」になってその保全に努めていきたいと思います。

富栄養化とは

本来は、湖沼に窒素やリンなどの植物の栄養分が増加して植物性プランクトンなどが増えていくことをいいます。しかし現在では、生活活動や生産活動によって多量の窒素、リンが川や湖など流れこみ植物性プランクトンなどが多量に増えることを表しています。このように増殖したプランクトンの死がい分解し、栄養分となって水中に放出され、水質を悪化させる原因となります。



無リン洗剤の使用を

本町には他市町でみられるような水銀、カドミウムをはじめとする重金属を含んだ排水を処理している工場、事業所が特にないため、河川汚濁については一般家庭からの雑排水などによる汚濁が原因と予想されます。

春の全国交通安全運動終わる

期間中死者はゼロ

今後も総ぐるみで事故防止

昭和五十六年に町内で起きた交通事故件数は、五十五年中に比べ減少しているものの交通事故には一時の油断も許せません。

今年も「みんなで守ろう」新入学校、職場から」を運動スローガンに四月六日～十五日の十日間にわたり春の全国交通安全運動が行われました。

この運動は広く町民に交通安全恵



想を普及徹底し、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として①歩行者、特に新入学(園)児を中心とした子供の交通事故防止、②自転車の安全利用の促進、③若年ドライバー等の無謀暴走運転の防止、④シートベルト着用等の推進を重点に全国的に行われたものです。

町では二宮町交通安全対策協議会

日毎日を交通安全運動であるという心がけを続けることで事故防止に努めよう。

この期間中「自転車の安全な乗り方テスト」も行われ、多数応募していただき総数一〇八件、正解七〇件あり、このなかから本町より当選者が四名でました。

運動期間中多くの関係者の協力に感謝いたします。

体育指導委員決まる

スポーツ・レク普及に貢献

町民の体育向上を図ることを目的に、スポーツ・レクリエーション活動のための組織づくりや実技指導、啓蒙などに尽力していただく体育指導委員が決まりました。(敬称略)

富土見が丘一 山口 勤 電話 72-12735
富土見が丘二 渡辺 勝 電話 72-12123
大塚 仁 電話 71-3519
上町 橋川 良雄 電話 71-0658
中町 池田 尚弘 電話 71-0675

黒川 嘉和 電話 71-7122
大松沢 治 電話 71-71763
百合が丘二 電話 71-71936
百合が丘三 飯田 武男 電話 71-71936
事業団 内山 哲 電話 71-93421
中里 関山 賢司 電話 71-1371
元町北 関口金由紀 電話 72-1399
元町南 水島 又一 電話 72-10878

が主催し、町議会、区長会、大蔵署、大蔵地区交通安全協会、各幼・保育園、安全運転管理者会、婦人会、民生児童委員、各小・中学校、PTA、父母の会、母の会、その他多くの関係機関団体の協力を得て行われました。

運動期間中、交通安全を願うドライバーを先頭に街頭パレード、二宮高校、二宮小学校、二宮中学校の児童・生徒を対象とした横断歩道の正しい渡り方、自転車の安全な乗り方、交通ルールなどによる交通安全教室、さらに福祉老人の家の交通安全教室を行い、みなさんたいへん熱心で実りの多い安全週間でした。

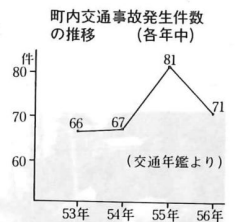
さらに街頭指導の徹底、道路パトロール、交通安全「ひと声」パトロールなどを行い交通安全の充実を図りました。

交通安全に対する町民への周知が図られ期間中四件の事故を数えましたが幸にも死者ゼロでした。

今後ともみなさんひとりが、毎



②の街頭パレードで交通安全を呼びかける



長年、広報紙の編集に尽力

西山氏他2名が勇退

本紙「広報」にのみや」と「お知らせ版」の編集にあたり、広報の充実に尽力された編集委員のうち、昭和四十八年の広報編集委員会の発足とともに会のリーダーとして歩んでこ

お年寄りの心配ごと、就労など...

6名が相談役に

られた西山喜徳郎氏、国松善一郎氏の二名と高橋宏和氏が三月三十一日付で退任されました。

長い間、たいへんご苦労をなされた西山、国松、高橋の三氏の退任により広報編集委員会は次のとおりになりました。(敬称略)

ごあいさつ

西山喜徳郎

昭和四十八年に、柳川町長からの発案により民主的にかたよらず信頼される広報の発行を理念とした広報編集委員会の発足に際し、町民参加の行政を進める一役とし、さらに町とのパイプ役を果たしてほしいとの要請を受け委嘱されてから、今回の退任まで九年の日々がたちました。

この九年間、未熟で迷惑をおかけし充分お役に立つことが出来なかつたのが残念です。また今日まで他の編集委員のみなさまと協力していただいた多くの方々に支えられて、どこか無事その責務を果たすことができたことを心より感謝するとともに会へのリーダーとして歩んでこ

最後に、今後ますます広報とお知らせ版がより充実し町民のみなさまに可愛がられるとともに長寿の里として明るく住みよい二宮町が発展することを心よりお祈りいたします。

- | | | |
|------|-------|---------------|
| 下町 | 秋山 伸司 | 電話 72-10252 |
| 梅沢 | 松本 正義 | 電話 72-10836 |
| 越地 | 脇 義夫 | 電話 72-1524 |
| 茶屋 | 西山 一雄 | 電話 72-14609 |
| 釜野 | 工藤 賢治 | |
| 押切 | 峯尾 賢治 | 電話 73-1037 |
| 川口 | 松本 良晃 | 電話 0465-43135 |
| 体育協会 | 伊東 栄一 | 電話 71-3066 |
| 体育協会 | 藤本 昌平 | 電話 71-9191 |
| 体育協会 | 藤本 昌平 | 電話 71-7332 |

今日、高齢化社会をむかえお年寄りに対する心配ごと、要望、その他各種相談が増えてきています。これらに応じる老人相談員が次のとおり決まりました。(敬称略)

任期は昭和五十七年四月一日～六十年三月三十一日の三年間です。

一色・中里地区 露木 マサ 電話 71-0978
百合が丘地区 武政 兼敬 電話 72-15294
元町・富土見が丘地区 田中 義則 電話 71-1566
上町・中町・下町地区 石井 留香 電話 71-0823
梅沢・越地地区 牧島 幸之介 電話 71-0819
茶屋・釜野・川口地区 後藤 ツチ 電話 71-1542
森徳好(新・高野地区) 加藤 利助(再・池田富子(再・関山藤雄(新・藤森道子(再・武市晴平(再・古林ミチ(再・斎藤富生枝(再・原伸雄(再・西山コメ(再・井上進(再・原勝代(再・小泉孝之(再・池田雄一(再・岩本公夫(再)



地域清掃活動をする生徒たち

ぼく達も美化に一役

環境保全が叫ばれている今日、新しいニュースが一つ。
地域の美化運動に積極的に取り組んできた二宮中学校多ヶ谷分校校長、生徒数八十九名が、このほど「美しくきれいな環境づくりに努めた」として県知事表彰を受けました。
今回の受章は、同校の生徒会と地域中学生生とが、ボランティアの三つの清掃活動が高く評価されたものです。
この清掃活動のはじまりは、五十三三年、同校生徒会活動の一つとして「何か良い事をしよう」ということがきっかけで、周囲を見渡し道路や袖が浦海岸に捨てられた空き缶や紙クズを見てびっくり。みんなで町をきれいにしてと立ち上がったものです。

二宮中が県知事表彰 学校一丸となって清掃活動を

生徒会は五十三年の新学期から毎学期、終り前日の大掃除の日を海岸清掃の日と決めて、毎回五・六〇人の生徒が袖が浦フル下から大磯町境までの約一キロにわたって空き缶、紙くずなどを収集、清掃してきました。
また春・夏・冬休みには、それぞれ生徒たちが住んでいる地区（一色、

野谷氏、県乳質改善事業で県知事表彰
三月十八日、横浜農業会館において県乳質改善事業で、四名の町内畜産家が表彰されました。
これは昨年中の出荷牛乳の脂肪、比重、細菌等の検査結果が優秀であることにより、初めて「まとい」を受章された本町の消防団・各分団（第一分団・第五分団）の幹部が任期満了（任期二年）をむかえて、三名が改選されたことにより決まりました。

このほか県下で初めて「まとい」を受章された本町の消防団・各分団（第一分団・第五分団）の幹部が任期満了（任期二年）をむかえて、三名が改選されたことにより決まりました。

「まとい」を一般公開
過去幾多の功績の積み重ねが認められ、二月十日に本町消防団が、日

第一投票区を分離

富士見が丘地区が独立

第八投票区を設定し 有権者の利便を図る

町選挙管理委員会（和田委員長）は定例会議において、第一投票区の一部である富士見が丘一丁目・二丁目・三丁目地区を分離し、この地区を第八投票区とすることが決まりました。これにより、一投票区増えて町内全部で八つの投票区から成ることになります。

投票区別有権者数の現況

投票区	地区名	有権者数			投票所
		男	女	計	
1	二宮地区一部 (第2宮541番地以降 東海道本線北側 富士見が丘1・2・3丁目)	2,513	2,711	5,224	二宮町公民館
2	二宮地区一部 (第2宮1~540番地 東海道本線南側)	1,293	1,429	2,722	二宮中学校 体育館
3	山西地区一部	1,268	1,419	2,687	梅沢老人憩の家
4	山西地区一部 川勾地区	691	767	1,458	茶屋老人憩の家
5	百合が丘1・2丁目	1,255	1,350	2,605	一色小学校 体育館
6	百合が丘3丁目 一色地区	1,210	1,270	2,480	百合が丘 第一公会堂
7	中里地区	935	927	1,862	中里児童館

昭和56年9月1日現在定時登録者数

有権者は一、八〇〇名
投票は老人憩の家で
この第八投票区の設定により有権者は約一八〇〇名を数え、一方従来の第一投票区の有権者は約三三〇〇名に減少し、投票区間のバランスが保たれるものと思われる。
また投票所は富士見が丘地区の地形、利用施設等を考慮したうえで二丁目老人憩の家を予定しています。
なお第一投票区の投票所は、従来どおり町公民館です。



このほか県下で初めて「まとい」を受章された本町の消防団・各分団（第一分団・第五分団）の幹部が任期満了（任期二年）をむかえて、三名が改選されたことにより決まりました。

若者の育成に尽力を

青少年相談員が10名 青少年指導員に24名

明日を担う青少年の健全育成のために青少年相談員と青少年指導員が新しく相談員と指導員が次のとおり決まりました。よろしくお願ひします。

青少年相談員
地区ごとに分かれ、青少年の相談や愛護・補導などに尽力していただきます。
(敬称略)

消防団・分団の幹部が改選

〇消防団
団長 脇政雄 副団長 露木昭治
市川正平
〇第一分団 分団長 松本義明、副分団長 西山豊弘

〇第二分団 分団長 添田稔、副分団長 脇信雄
〇第三分団 分団長 足立隆市、副分団長 岸敏明

〇第四分団 分団長 鈴木康之、副分団長 行谷鎮夫
〇第五分団 分団長 井上静朗、副分団長 井上良光

青少年指導員
地区ごとに分かれ、青少年の相談や愛護・補導などに尽力していただきます。
(敬称略)

56年度

下半期の財政事情

町民一人当たり13万一千円余

町では、町の財政がどうなっているかをみなさんに知っていただくため、毎年五月と十一月に財政事情の公表をしています。
今回は昭和五十六年度下半期（十月一日～三月三十一日）の執行状況をお知らせします。
なお、この中には四月五月の出納整理期間内に処理されたものも含まれます、昭和五十六年度の決算ではありません。

一般会計

昭和五十六年度の当初予算は三億二〇〇〇万円でしたが、六、九、十月に予算を追加補正し、今回三月には二ヶ年統制事業の、飯塚山西ブル建設工事の減額を中心に、九九一九九千円の減額補正を行った結果、最終予算額は三億九千九百七十六千円となりました。

予算の執行状況

三億九千〇〇〇万円余の予算現額に對しての執行率は、歳入においては91・4%、歳出では88・1%となります。
前年度同期と比較してみますと、歳入は10・4%、歳出は9・4%それぞれ増となっています。

町税収入の状況

町税の予算現額は一億八千三百七十九千円で、歳入総額の45・6%を占めています。従って町税収入状況の歳出における影響は大きなもので

す。
下半期の収入率は、みなさんのご協力により97・8%となりました。
住民負担の状況

予算と町税について、一世帯および人口一人当たりで算出しますと、図1・2（参照）のような額になります。

町債および一時借入金

町債は、町内の各小学校、児童遊園、道路、消防、および厚生福祉施設などを整備するときに、その資金に充当した借入れ金です。
三月三十一日現在、国、県などから借入れた町債の未償還額は、一億二千四百四十二万四千円余となっていますが、毎年その返済を行っています。

（図1・3参照）

次に一時借入金とは、手持の現金

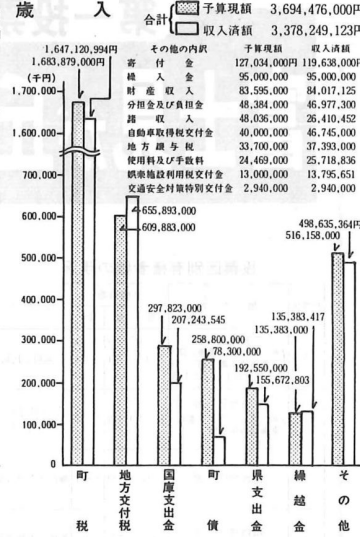
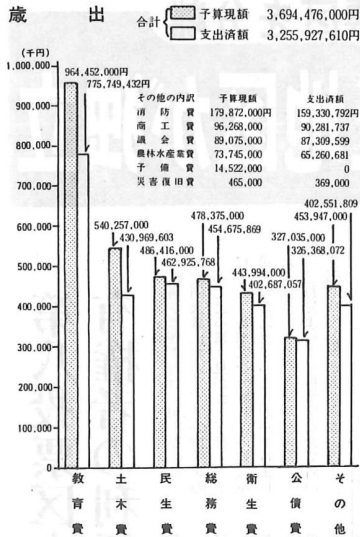
が不足した時に借入れ、支払いにあてるものですが、この数年、資金繰りは良好でしたので、借入れはしていません。

基金

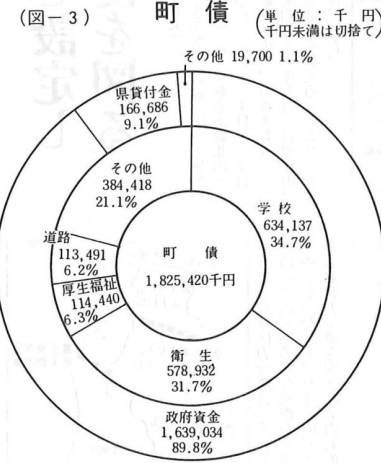
多額の費用を必要とする学校、衛生処理施設の建設などに充てるための積み立て金で、積み立てや支出はすべて町議会の議決によって行われます。（図1・4参照）

国民健康保険特別会計と農業共済事業特別会計の三月末予算現額と執行額は（図1・5参照）のとおりです。

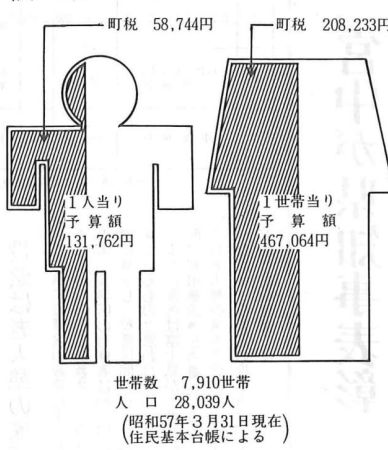
（図-1）



（図-3）



（図-2）住民負担の状況



（図-5）国民健康保険事業特別会計（単位：千円）

区分	予算現額	執行額	執行割合
歳入	631,138	613,999	97.3%
歳出	631,138	506,163	80.2%

農業共済事業特別会計

区分	予算現額	執行額	執行割合
歳入	7,135	6,872	96.3%
歳出	7,135	6,333	88.8%

（図-4）基金（単位：千円）

基金名	昭和56年9月末現在	昭和56年度下半期増減	昭和56年度3月末現在
衛生処理施設建設基金	46,888	△31,671	15,217
義務教育学校建設基金	206,677	△47,746	158,931
財政調整基金	28,178	1,927	30,105
合計	281,743	△77,490	204,253

基金名	昭和56年9月末現在	昭和56年度下半期増減	昭和56年度3月末現在
土地開発基金	61,566	27,808	85,374
現金	53,631	25,421	79,052
土地	7,935 (666㎡)	△1,613 (△123㎡)	6,322 (543㎡)

野菜
果菜類の種まき
ナスは昔から家庭菜園でよく育てられる野菜で、種まきは4月下旬から5月上旬にかけて行います。種まきをするときは、土を深く耕し、種をまき、上を軽く覆土します。また、苗を植えるときは、苗の根を壊さないように注意します。また、苗を植えるときは、苗の根を壊さないように注意します。また、苗を植えるときは、苗の根を壊さないように注意します。



五月の家庭園芸



奥さん町の物価を存じ？

生活物資価格調査表

（3月分）

調査品目	平塚市	秦野市	伊勢原市	大磯町	二宮町	3市2町平均
灯油	1,637	1,648	1,646	1,633	1,616	1,636
合成洗剤	888	916	896	879	878	891
粉石けん	858	859	827	848	792	837
トイレペーパー	173	175	166	165	160	168
砂糖	286	286	284	271	270	280
しょう油	266	276	259	233	266	260
小麦粉	193	192	213	180	192	194
サラダ油	315	321	308	270	310	305
豚肉	162	171	160	169	169	166
鶏肉	229	228	231	224	228	228
プロパンガス	4,926	4,777	4,887	4,858	4,743	4,838

国民健康保険税

期限内に納付を
医療費節減のご協力も

国民健康保険の事業は、国保の被保険者であるみなさんが出し合った保険税によって成り立っています。

現在、町の国保運営は医療費の増大から大変苦しく、国・県の補助金を加えてやっと運営ができる状態です。

従って、みなさんに納めていただく国保税の遅れは、国保運営に大きな支障となります。

十一、一、三月の奇数月で、この納期に遅れると、延滞金や督促手数料が課せられ、また滞納処分を受けることになります。

さらに、滞納が続けば国保に加入している他の被保険者等に余分な負担がかかったり、収納率が低い場合には、国からの補助金が減らされるなど、みなさんに大きな負担がかかることになります。

このような事から、国保税は必ず納期内に納めるようご協力お願いします。

交通事故に遭った場合、必ず国民健康保険係へよく要約に示談にすませ、あとで届出をしてください。

注意してください。このように交通事故が不法行為によつて生じ、負傷した場合に被害者には加害者に對し、医療費の請求をすることがあります。

このように交通事故に、被害者と加害者の中間に入つて保険者（町）が、第三者行為を活動させ両者の調整を行い、国民の健全な運営をはかることになつてゐます。

交通事故にあつたら、すぐに届出をしましょう。

お問合せは、住民課保険年金係（内線三三三）へ。

お年寄りと一緒に同居して、
かなな生活をしていただきた
年寄り専用の部屋を新・増
付の対象となる資金の貸付
に、資金の貸付けを行
います。

現在、六〇歳以上の老人と同居し、かつ同一住所とする方が、県内に一年以上住所がある方を賃借できる方
に、資金の貸付けを行
います。

老人と同居を目的に、家

二宮町香泉銀行へ
金四一六八円
上町
金三〇〇〇円
谷戸
金九一六八円
金七三三円
南新道一組一同

あし

詩大系（全・四巻） 金田一京助
青木正晃
かあそび（全・一〇巻） 田中義朗
平松巻物語（全・一〇巻） 今西梧村

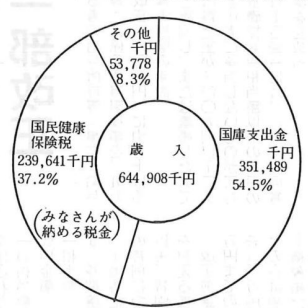
育児相談

若いお母さんへの育児に対する
不安の相談相手として、専門相談
が次々に相談に応じますので

日 程 〇五月十九日(水、日)
の未来(その中における健康問
題)、前日本医師会会長、武見
郎 〇六月一日(水、科学と
問社会、三菱研究所社長、牧
野昇 〇六月十日(木、ふれ
い、いぬの日本国々長、宮城
子
いずれも午後四時四十五分止
後六時三〇分
とて、東海大学湘南校舎、八号
館、八四二一教室

午後一時三〇分—一時三三分
 フォム 捨てるものを見直し、
 アーム でペスを作る
 講師 平塚ドレター女子
 院講師 今井 敏子氏
 (三回)
 とき 六月十五日(火)
 午後一時三〇分—一時三三分
 食物の科学—節の効用
 ティーンドレッシング
 講師 消費生活センター
 太田 清里氏

昭和57年度国民健康保険特別会計予算額



繰越金	27,000千円	4.2%
繰入金	20,000千円	3.1%
県支出金	5,199千円	0.8%
諸収入	1,503千円	0.2%
使用料及び手数料	76千円	0.0%

老人医療証の
書き替えを！

老人医療費受給者証または高齢者医療証の交付を受けている方は、現在お持ちの受給者証が、六月三十日で使用期限が切れるため、ここで受給者資格の更新申請が必要です。

②老人医療費受給者証または高齢者
①健康保険証

を受ける資格があつて、実際に七月以降の医療費が支給されないこともあるので必ず申請してください。申請の日時については、五月下旬の予定ですが、本人には通知します。なお、申請には次のものが必要です。

③印鑑
医療証
お問合せは福祉課児童福祉係（内線二四四）へ

退職者は国民年金に加入を

百合が丘 植松二郎さん
 人間の経済(他二冊) 森本昌憲さん
 富士山が丘 森本昌憲さん
 オコナー短編集(他八冊) 榎原雅昭さん
 二宮町 榎原雅昭さん
 女のバイタリテ(他四冊) 高野節季さん
 二宮町 高野節季さん
 ガロアの生涯(他五冊) 小島俊男さん
 上町
 句集「潮音」

方法について

使用済タイヤの処理について、
民のみならずには、不便をかける
が、六月一日より左記某社に
接持込んでください。粗大ゴミ
はたさないようお願いします。

理料金 有料

理業社 (平塚地区) ○プリシ

十日(木) いずれも午前十時
 午後二時
 ところ 県平塚合同庁舎会議室
 募集人員 二〇名、三日間出席
 能な成人(婦人)
 費用 受講料は無料
 主催 日本赤十字社神奈川県
 支部湘南地区
 問合せ・申込み 五月二十五日
 までに、日赤湘南地区へ申込む

編集室

壽 老人医療費受給者証	
公費負担者番号	2 6 1 4 0 5 5 8
公費負担医療の 受給者番号	
受 居 住 地	〒259-01 神奈川県中部二宮町 二宮 96番地
給 氏 名	(ふりがな) (の み や た ろ う) 二宮 太郎
生年月日	明治 40 年 1 月 1 日 大正 昭和 昭和 57 年 6 月 30 日 から 日まで
有 効 期 間	神奈川県中部 二宮町長
発行機関名 及 び 印	神奈川県中部 二宮町長
交付年月日	昭和 年 月 日

三人以上の児童を養育しているサラリーマン世帯（厚生年金等）に加入している人に限るで、現在児童手当を受給していない世帯であり、所得制限額、扶養親族五人で収入額が五十六万〇円未満の、このたび特別給付とて三人目の児童から、月五〇〇〇円が支給されることになりました。

支給は五十七年六月分からです。支給前月の五月中に申請してください。

くわしくは福祉課児童福祉係（内線一四四）へ

として、経済的に安定を図ること
としています。

会社や官公庁などを退職した人
の年齢が六十歳未満であり、加
齢期間が二十年未満（年齢
の短期措置があります）の方
に年金給付に必要な一定の資
格を満たすことができない場合
です。

このようなことのないよう、ウ
ラシエの国民年金に加入し、年
々権利を得てください。

くわしくは国民課保険年金（三
三五）へ

新着図書

加藤秀俊著作集（全一〇巻）
加藤秀俊
クインズ全集
中山伊知郎
日本化学集（全五八巻）
漢 正雄
大気科学講座（全四巻）
岸保助 三郎
日本農業全集（全三五巻）
農山漁村文化協会
藤原定家全歌集
赤羽 淑
石川啄木全集（全八巻）

三八、○相模コハタイヤ22
一六〇五五、○神鋼産業21一三
一七六、○トローリットタイ
ヤ 神奈川 飯22一五五、四〇
（小田原地区）○相模コハマ
タイヤ34、〇三〇、○相模コ
ハ37一三三、〇三タイヤ
48一四三三三

金内 内線四五三

 暮らしの講座

 (二日)

 き 六月一日(火)

 午後二時〇分〜三時三十分

 ー マ 簡筆友往まいの補修(へき

 ンキを塗てみよう)

 師 日本曜大工クラブ 理事

 (二日)

 き 六月八日(火)

 西沢 正人氏

	4月1日 現 在	前月との 比 較
人口総数	27,909人	70人
男	13,809人	54人
女	14,100人	16人
世 帯 数	7,920世帯	37世帯

編
集
室

今月の納期
 固定資産税 第1期
 ~5月31日
 国民健康保険税 第1期
 ~5月31日
 国民年金保険料 第1期
 ~5月25日

開催場所および申込先
平塚市紅谷町五二〇（極
バート本館七階） 県平塚遊
活センター実習室
（電話22一四〇九三）

とき 六月十五日(火)
午後一時三〇分～三時三〇分
テーマ 食物の科学(酢の効用)
手づくりドレッシング)
講師 消費生活コンサルタ
太田 満里氏
以上三回とも受講料は無料

午後一時三〇分～三時三〇分
テーマ 捨てるモノの見直し
フォーラムでベストを作る
講師 平塚ドレスメーカー
院講師 今井 敏子氏

